



## 交通事故ゼロを目指して

4/6 春の全国交通安全運動街頭啓発

春の全国交通安全運動の出発式が4月6日、堀金総合体育館敷地内で行われ、市や、安曇野警察署、安曇野交通安全協会など関係者約130人が参加しました。安曇野交通安全協会の宮坂英文協会会長はあいさつで「地道に啓発活動を続けていくことが大切」と話しました。その後、近くの交差点で参加者が街頭啓発を行い、ドライバーに安全運転を呼び掛けました。



## 未来の音楽家が演奏

3/19 あづみのジュニアクラシック音楽会

市制施行10周年記念「あづみのジュニアクラシック音楽会」が3月19日、穂高交流学習センター「みらい」で行われました。当日は、昨年7月「あづみの新進音楽家公開オーディション・ジュニアの部」で選ばれた8組10人が、練習の成果を発表しました。ピアノ連弾で「動物の謝肉祭」(S・サーンズ作曲)を演奏した三郷小6年(当時)の井山麻衣さんと青木花菜さんは「初めて長い曲を演奏し、とても疲れました」、「オーディション合格は驚いたけど、演奏が終わって安心しました」と話しました。

## 昭和の安曇野がよみがえる

3/26 記録映画「よみがえる安曇野」完成上映会

市内の各家庭に眠る8ミリフィルムを集め、デジタル化した記録映画「よみがえる安曇野」の完成上映会が3月26日、穂高交流学習センター「みらい」で行われました。当日は、昭和初期から50年代頃までの田植え風景や下駄スケート、結婚式など、当時の安曇野の映像が映し出され、会場からは「懐かしい」といった声が聞かれました。

この映画は、収集した276本のフィルムの約半数をデジタル化した市制施行10周年記念市民提案事業「あづみのフィルムアーカイブ」プロジェクトとして制作されました。作品内では、市民有志の皆さんがコーラスを担当しています。

発案者で、全国各地の地域映像の保存・記録を手掛ける三好大輔さん(穂高)は「多くの市民が携わった映画制作は安曇野市が初めての経験でした。今後も8ミリフィルムの保存と活用(にわまさひね)に努めたい」とあいさつしました。コーラスにも参加した丹羽正宗くん(穂高北小6年・当時)は「初めて見た下駄スケートがとても新鮮でした」と感想を話しました。



## ようこそ 新1年生

4/5 市内小学校入学式

市内各小学校の入学式が4月5日に行われました。このうち豊科北小学校では95人が入学。正面玄関では、記念撮影をする家族の姿が見られました。

また、三郷小学校では148人が入学。式典で望月弘校長は、新1年生に「元気なあいさつと返事ができること。そして交通事故に気をつけましょう」と呼び掛けました。

市内では本年度、小学校10校に762人が入学しました。



## 都市緑化 先進地に学ぶ

3/19 屋敷林フォーラム

市民などで構成する屋敷林と歴史的まちなみプロジェクト(場々洋介リーダー)は、3月19日、市役所で「安曇野屋敷林フォーラム」を開催しました。この催しは、市民に屋敷林など、安曇野の景観や文化に理解を深めてもらおうと開催したものです。当日は、市民など約170人が参加。基調講演では、都市緑化の先進地・東京都武蔵野市の前市長で、総務副大臣の土屋正忠さんが、民有地の樹木の保全など武蔵野市の取り組みを紹介しました。土屋さんは「都市緑化に力を入れても安曇野の自然には敵わない。暮らしの中の屋敷林を大切にしてほしい」と会場に呼び掛けました。



## 市民活動団体が情報交換

3/12 市民活動事業成果報告会

「市民協働事業提案制度」および「つながりひろがる地域づくり事業補助金」実施団体が、活動成果の発表や団体相互の情報交換を行う「市民活動事業成果報告会」が3月12日、市役所で開かれました。当日は、両制度活用27団体のうち8団体が日ごろの地域活動を発表しました。また、参加者がグループごとに車座になって、意見交換会も開かれ、他団体の特色ある活動に耳を傾けていました。このほか会場では活動報告書の配布、事業内容を紹介するパネル展示や紙人形劇も披露され、それぞれの活動の情報交換を行いました。